

1 研究主題とめざす児童像

【研究主題】

「一人ひとりが自分の考えをもち、主体的に学び合う児童の育成」
～算数科の授業を通して～

【めざす児童像】

低学年…進んで課題解決に向かい、自分の考えを伝えることができる子

中学年…進んで課題解決に取り組み、自分の考えを伝え合う中で、よりよい考えに気付く子

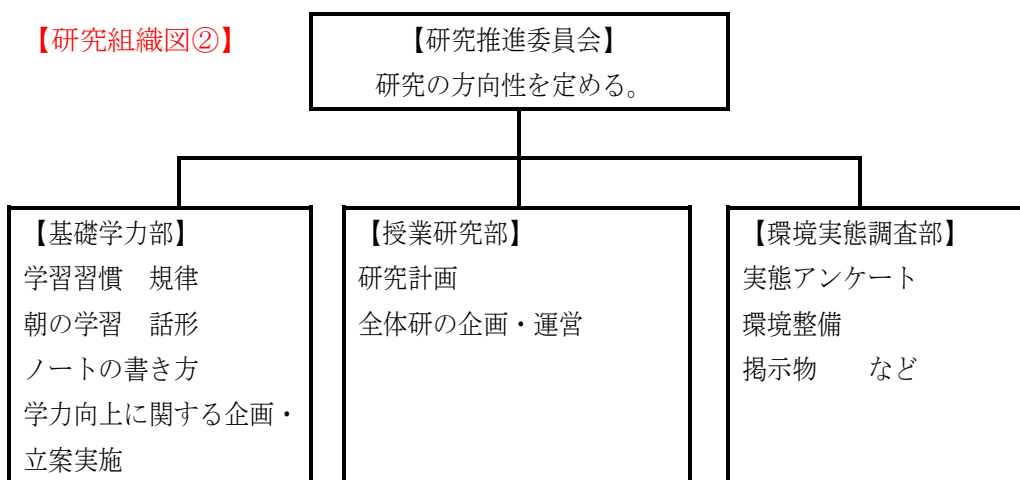
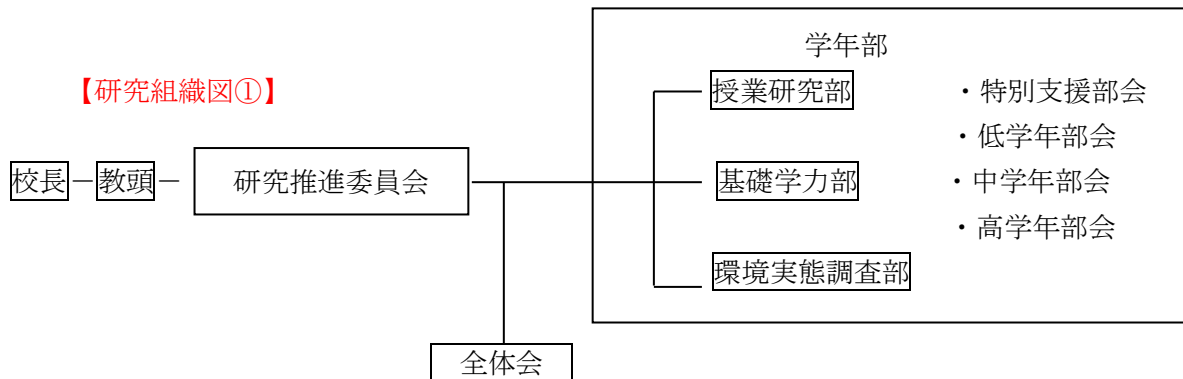
高学年…問題解決の仕方を工夫し、自分の考えを伝え合う中で、考えをより深めていく子

2 研究主題設定の背景

本校では、昨年度より算数科の授業研究に取り組み、児童が主体的に学ぶためには、また、児童が相互に考えを伝え合いながら学び合うためには、どのような支援や授業展開の工夫が必要なのかを追究するとともに基礎学力の充実を図ってきた。前年度において、「主体的・対話的で深い学び」について児童の具体的な姿がイメージでき、そのために必要な支援や授業展開のあり方もつかみかけている。

本年度は、さらに研究を深め、1単位時間だけでなく単元全体を通して、学習の見通しを立てたり振り返ったりする場面や、対話によって考えを広げたり深めたりする場面の設定は適切だったのか、学びの深まりをつくりだすための児童が考える場面と教師の考える場面の組み立ては適切であったのかなどについても研究を進めたいと考えている。

3 研究組織



4 実施計画

月・日	研究内容
4月	研究主題やめざす児童像を設定する 研究計画を立てる
8月	第1回校内研修会 岡山大学大学院 岡崎正和先生の講義と指導案検討
9月上旬	第2回校内研修会 中学年部（第3学年）の授業公開と研究協議 単元名「あまりのあるわり算」
9月下旬	第3回校内研修会 つくし学級の授業公開
10月	第4回校内研修会 高学年部（第6学年）の授業公開と研究協議 単元名「円の面積」
11月	第5回校内研修会 低学年部（第1学年）の授業公開と研究協議 単元名「ひきざん」
1～2月	研究のまとめ 今年度の反省と来年度の研究に向けて